

熱中症による死亡災害多発!!



大阪では、今年、7月以降連日35度を超える猛暑の中、**熱中症による死亡災害が多発しています。**

暑さは今後もしばらく続くことが予想されています。熱中症を予防するために、こまめな休憩と塩分水分の摂取に心がけましょう!!



異常(緊急)時の措置

熱中症は、短時間で容体が急変します。あらかじめ、近くの病院の場所を確認しておき、本人や周りが少しでも**異変を感じた時にはすぐに病院へ運ぶか、救急車を呼びましょう!!**



令和6年 熱中症による死亡災害事例

令和6年8月20日現在
死亡災害報告による

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
7月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	17時台	50代	男	35.4	29.8	建物屋上のシート防水施工作業完了後、「忘れ物をした」と屋上に戻ったものの、しばらくしても帰って来ないため事業主が電話すると、「今から降りる」と返答があったがその後も帰ってこないため、迎えに行ったところ足場の手摺に寄りかかって意識を失っていたため、病院に搬送したが熱中症により死亡した	屋外
7月 ★	その他の金属製品製造業	16時台	20代	男	34.9	30.5	工場内で作業に従事していたが体調不良により早退するため、午後2時頃に更衣室に移動し、その後、4時過ぎに更衣室に入った同僚が倒れているところを発見し、病院に搬送したが熱中症により死亡した。	屋内
7月	陸上貨物取扱業	16時台	30代	男	35.6	31.2	倉庫内1階で製品のピッキング作業中に突然転倒し、その後けいれんを起こし意識を失ったため、病院に搬送されたが熱中症により死亡した。	屋内
7月 ★	一般道路貨物自動車運送業	17時台	60代	男	37.4	32.9	親会社の敷地内でフォークリフトを運転中、熱中症により死亡した。	屋外
8月 ★	食料品製造業	16時台	50代	男	37.4	33.6	オープンの出口で天板を回収する作業を行っていたが資材の部屋にふらつきながらやってきたため、熱中症と判断し、体を冷却したが、意識がなくなり、救急搬送したが熱中症により死亡した。	屋内

発生月欄の★印は「異常(緊急)時の措置」が適切にとられていなかった事案

「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」

キャンペーン期間：5月～9月

大阪労働局では、労働災害防止団体などと連携して、職場における熱中症の予防のために「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、重点的な取組を進めています。キャンペーン期間は、9月までですが、気象庁の長期予報では、今年も、10月ぐらいまで平均気温が高く、11月になっても平年並みか高い状態が続く見込みです。

各事業場においては、事業者、労働者が協力して、引き続き**熱中症予防対策に取り組みましょう!**



キャンペーン
実施要項



キャンペーン期間（5月～9月）

STEP
1

暑さ指数の把握と評価

- JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効

STEP
2

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

<input type="checkbox"/> 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施しましょう
<input type="checkbox"/> 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置しましょう
<input type="checkbox"/> 服装	準備期間に検討した服装を着用しましょう
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止などの工夫をしましょう
<input type="checkbox"/> 暑熱順化への対応	熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整しましょう ※新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取しましょう（水分等を携行させる等を考慮）
<input type="checkbox"/> プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減させましょう
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮しましょう ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前にも確認しましょう
<input type="checkbox"/> 作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働者にお互いの健康状態をよく確認しましょう
<input type="checkbox"/> 異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置を行いましょう ※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減 ※一人きりにしない